

PLUS ronna テーブル(4本脚タイプ)

組立説明書 (長方形タイプ 幅1500~2100mm)

台形タイプ、正方形タイプ
長方形タイプ 幅1200mm
は裏面を参照してください。

組立方法 (必ず二人以上で作業してください。)

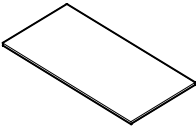
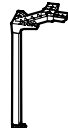
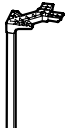
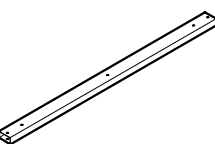
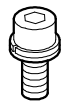
- 組立及び設置は、必ず組立説明書(本紙)に基づいて行ってください。誤った組立はけがの原因となります。
- 組立前に、組立部材・組立部品をご確認ください。
- 組み立て作業は製品の表面を傷つけないよう、梱装箱を利用して行うか、毛布等のあてものを敷いておこなってください。

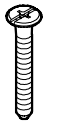
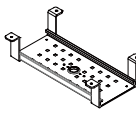
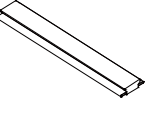
■梱包一覧

※部材・部品の数量は下記の一覧表を参照して下さい。

- | | |
|---------------------------|---|
| 1.天板梱包・・・1組 | 内容品:天板、取扱説明書、組立説明書(本紙) |
| 2.脚梱包・・・1組 | 内容品:脚、六角穴付ボルト(M8×20) |
| 3.補強フレーム梱包・・・1組 | 内容品:補強フレーム(短)、補強フレーム(長)、
ジョイントボルト(短)、ジョイントボルト(長)、ネジ用キャップ |
| 4.配線受け梱包・・・1組(配線口付きタイプのみ) | 内容品:配線受け、配線口カバー、トラスコネジ |

■組立部材・部品一覧

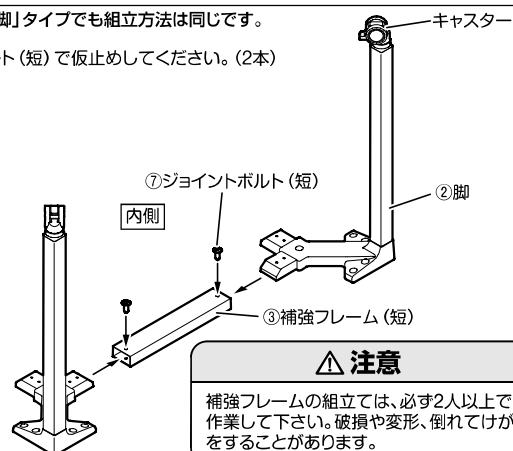
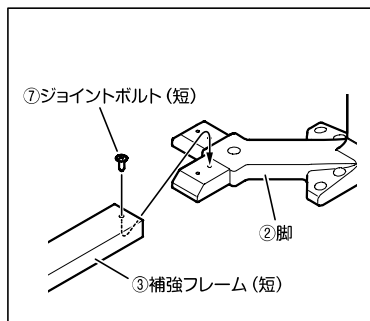
①天板	②脚		③補強フレーム(短)	④補強フレーム(長)	⑤六角穴付ボルト(M8×20)
	キャスター脚	アジャスター脚			
 品番によって形状が異なります。	 品番によって脚のタイプが異なります。	 品番によって脚のタイプが異なります。			
1	4	4	2	2	20

⑥ジョイントボルト(長)	⑦ジョイントボルト(短)	⑧ネジ用キャップ	※配線口付タイプの場合、下記部材が付属されています。		
			⑨配線受け	⑩配線口カバー	⑪トラスコネジ
 M6×45	 M6×15				 M6×12
6	8	14	1	1	4

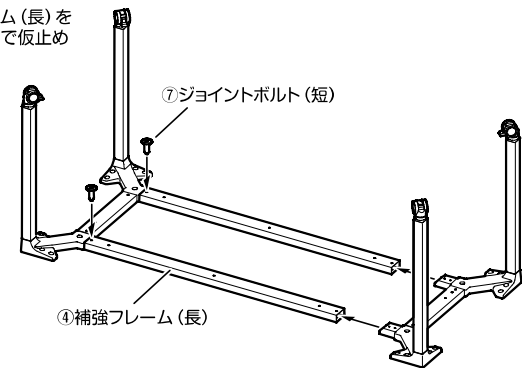
1.脚と補強フレームの組立て

■組立説明図は「キャスター脚」タイプです。「アジャスター脚」タイプでも組立方法は同じです。

- ②脚に③補強フレーム(短)を差込み、⑦ジョイントボルト(短)で仮止めしてください。(2本)
※2セット組み立ててください。



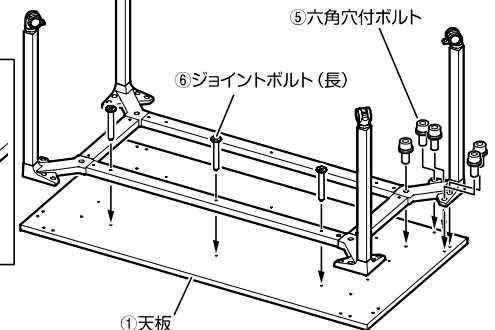
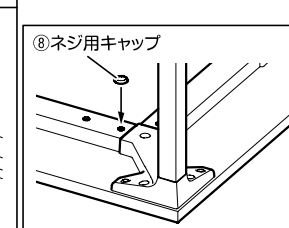
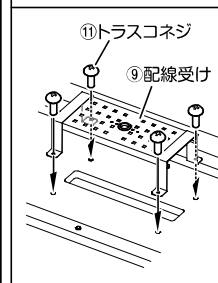
- 1で組み立てた脚に④補強フレーム(長)を差込み、⑦ジョイントボルト(短)で仮止めしてください。(4本)



2.天板の取り付け及び配線受けの取り付け(配線口付きタイプのみ)

- 天板を裏返しに置いてください。
※天板がキズつかないように、下にダンボールや毛布などを敷いてください。
 - 脚と補強フレームのセットを①天板裏面に置き、⑤六角穴付ボルト(20本)と⑥ジョイントボルト(長)(6本)で固定してください。
 - 「1.脚と補強フレームの組立て」にて仮止めした全てのネジを本締めしてください。(8ヶ所)
 - 全てのジョイントボルトにネジ用キャップを取り付けてください。(14ヶ所)
 - 天板中央に⑨配線受けを⑪トラスコネジ(4本)で取り付けてください。
- ※⑩配線受けは配線口付きタイプのみ取り付けとなります。

配線受けの取り付け

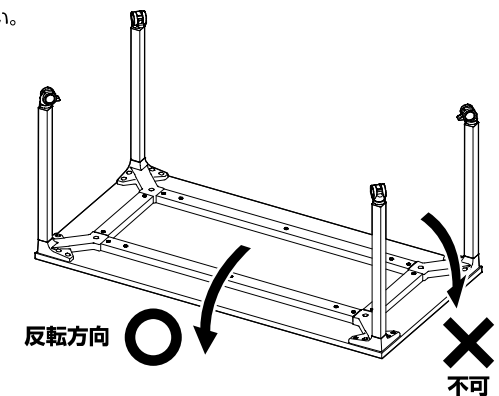


3.設置

- テーブル本体を反転させて、所定の位置に設置してください。

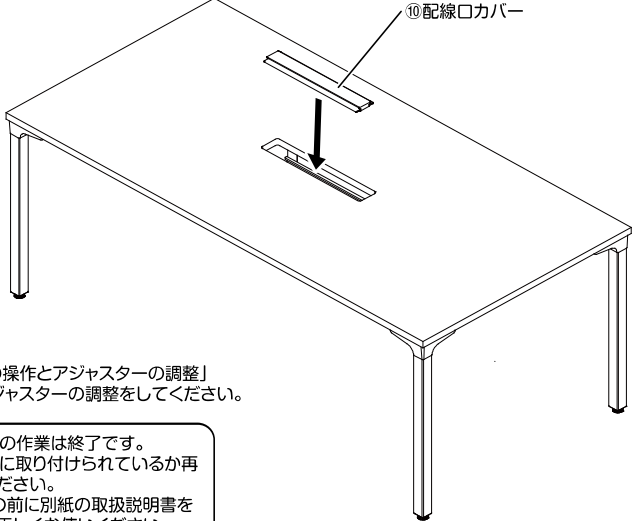
△ 注意

テーブルを反転させる際は、必ず2人以上で作業してください。また、脚を支点にして反転させないでください。
破損や変形、倒れてけがをすることがあります。



4.配線口カバーの取り付け(配線口付きのみ)

1. 天板中央の配線口に⑩配線口カバーを載せます。



2. 「2.キャスターの操作とアジャスターの調整」を見ながら、アジャスターの調整をしてください。

以上ですすべての作業は終了です。
各部材が確実に取り付けられているか再度確認してください。
また、ご使用前に別紙の取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。

長方形タイプ 幅1500~2100mmは裏面を参照してください。

ronna シリーズ組立説明書
(台形タイプ、正方形タイプ、長方形タイプ 幅1200mm)

組立方法 (必ず二人以上で作業してください。)

- 組立及び設置は、必ず組立説明書(本紙)に基づいて行ってください。誤った組立はけがの原因となります。
- 組立前に、組立部材・組立部品をご確認ください。
- 組み立て作業は製品の表面を傷つけないよう、梱装箱を利用して行るか、毛布等のあてものを敷いておこなってください。

■梱包一覧(1台/2梱包)

※部材・部品の数量は下記の一覧表を参照して下さい。

- 1.天板梱包・・・1組 内容品:天板、取扱説明書、組立説明書(本紙)
- 2.脚梱包・・・1組 内容品:脚、六角穴付ボルト(M8×20)

■組立部材・部品一覧

部材	①天板	②脚		③六角穴付ボルト (M8×20)
		キャスター脚	アジャスター脚	
	 品番によって形状、配線カバーの有無が異なります。	 品番によって脚のタイプが異なります。	 品番によって脚のタイプが異なります。	
	1	4		20

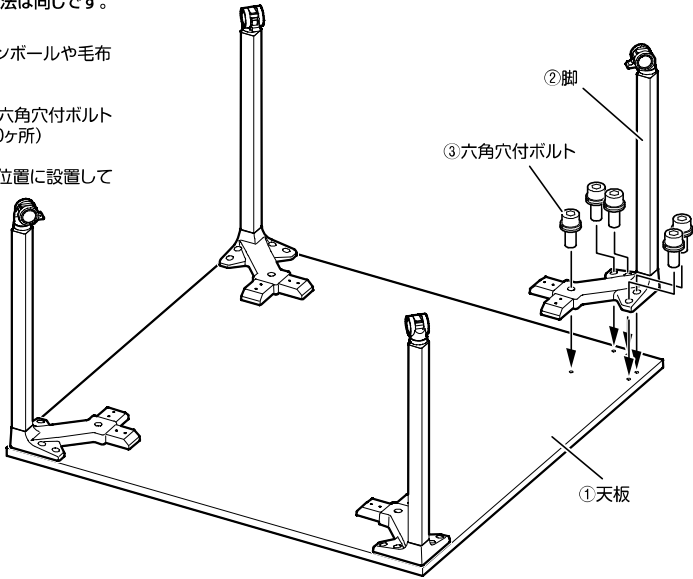
1.天板と脚の組立て

■組立説明図は「キャスター脚」タイプです。
「アジャスター脚」タイプでも組立方法は同じです。

- ①天板を裏返しに置いてください。
※天板がキズつかないように、下にダンボールや毛布などを敷いてください。
- ②脚と①天板の穴位置を合わせ、③六角穴付ボルトでしっかりと締付けてください。(20ヶ所)
- テーブル本体を反転させて、所定の位置に設置してください。

△ 注意

テーブルを反転させる際は必ず2人以上で作業してください。
また、脚を支点にして反転させないでください。破損や変形、倒れてけがをすることがあります。

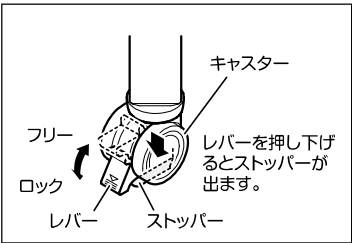


2.キャスターの操作とアジャスターの調整

- キャスターの操作(キャスター脚タイプのみ)
キャスターのレバーを押し下げるとストッパーが出てロックされ、引き上げるとフリーになります。
※レバーが操作しにくい場合は、キャスターが浮かない程度に天板を持ち上げて操作してください。

△ 注意

- ・キャスターのレバーを操作するときは、足で行なってください。足以外で行なうと、けがや破損のおそれがあります。
- ・レバーを上げるときは、靴底の縁で行なってください。靴の表面を傷つけたり、けがをすることがあります。
- ・天板を持ち上げてレバーを操作するときは、本体が転倒しないように注意して行なってください。けがの原因になります。



- アジャスターの調整
ガタつきがある場合は、アジャスターで調整してください。
アジャスターは10mm以上伸ばさないでください。
破損や倒れてけがをすることがあります。
※アジャスターは水平の調整のみに使用し、高さ調整には使用しないでください。

以上ですすべての作業は終了です。
各部材が確実に取り付けられているか再度確認してください。
また、ご使用前に別紙の取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。



キャスター脚タイプの場合



アジャスター脚タイプの場合